

平成 20 年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 共同利用種目 (該当種目にチェック)

- 特定共同研究(A) 特定共同研究(B) 特定共同研究(C) 一般共同研究
 地震・火山噴火予知研究 施設・実験装置・観測機器等の利用
 データ・資料等の利用 研究集会

2. 課題番号または共同利用コード 2008-A-20

3. プロジェクト名、研究課題、集會名、または利用施設・装置・機器・データ等の名称

和文：次世代地震情報システムの研究開発英文：Research and development of the next generation earthquake information system4. 研究代表者所属・氏名 鶴岡 弘(地震研究所担当教員名) 鶴岡 弘

5. 利用者・参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	利用・参加内容または 施設,装置,機器,データ	利用・参加期間	日 数	旅費 支給
鶴岡 弘	東京大学地震研究所・助教	研究代表者・所内担当教員	H20.4.1-H21.3.1	365	無
卜部 卓	東京大学地震研究所・准教授	所内担当教員	H20.4.1-H21.3.1	365	無
坂尻直巳	八戸工業大学工学部・教授	緊急地震速報受信	H20.4.1-H21.3.1	365	無
長谷見晶子	山形大学理学部・教授	緊急地震速報受信	H20.4.1-H21.3.1	365	無
栗田勝実	千葉科学大学・准教授	緊急地震速報受信	H20.4.1-H21.3.1	365	無
須田直樹	広島大学・准教授	緊急地震速報受信	H20.4.1-H21.3.1	365	無

6. 研究内容 (コンマ区切りで3つ以上のキーワードおよび400字程度の成果概要を記入)

キーワード：即時的地震情報，モニタリング，ネットワーク

本研究は、即時的地震情報や GRiD MT(長周期波動場のモニタリング結果)等の地震情報を広域高速ネットワーク (JGN2)やインターネットで配信し、それらを活用した地震情報システムの開発を行うことが目的であり、今年度は、SINET3を通して、緊急地震速報を配信した。

7. 研究実績報告（公表された成果のリスト*¹または2000～3000字の報告書）

（*¹論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無、ポイント数、電子ファイル添付のこと）

首都圏地震観測網(MeSO-net)における学校向けコンテンツ概要. 鶴岡弘・鷹野澄・酒井慎一・笠原敬司・平田直（東大地震研）2008年度合同大会（謝辞に記載無 ポイント2）

Tsuruoka, H., Kawakatsu, H., and T. Urabe , GRiD MT (Grid-based Realtime Determination of Moment Tensors) monitoring the long-period seismic wavefield , Phys. Earth Planet. Inter., in press, 2008. （謝辞に記載無 ポイント3）